

成長の記録

記入例

目次

()の歩み	成長	1
生活の記録	成長	2
将来の希望	成長	3
進路先への引継ぎ事項	成長	4
就労の記録(訓練・体験・実習を含む)	成長	5
就労・訓練・実習の記録シート	成長	6
はたらく人になるために	成長	7・8
余暇活動や習い事の記録	成長	9
資格・免許の取得、表彰・顕彰、社会体験活動歴	成長	10
相談・支援の記録	成長	11
その他	成長	12



名前： _____

○学校の個別の教育支援計画、個別の指導計画、個別の移行支援計画や、事業所や福祉施設の個別の支援計画なども一緒に保管しておきましょう。

(太郎) の歩み

記入日 (年 月 日)

西暦 ／和暦	本人 太郎 年齢	(父) 静夫 年齢	(母) 清子 年齢	学校・事業所・ 会社・施設など	できごと・メッセージなど
1992 ----- H4	0	27	22		鳥取家の長男として、太郎誕生。
1994 ----- H6	2	29	24		言葉の遅れが気になり始めた。 二男、次郎が誕生。
1996 ----- H8	4	31	26	つつじ幼稚園	入園。言葉の教室も通い始める。 長女、花子誕生。
-----				△△病院	発達遅滞・自閉傾向と診断された。 主治医は田中医師。
1998 ----- H10	6	33	28	〇〇養護学校	小学部入学。
2000 ----- H12	8	35	30	△△病院	肺炎で2週間入院。
2003 ----- H15	11	38	33		自宅を改築。自分の部屋ができた。 自分の部屋で寝るようになった。
-----					母方祖父（南部伊三郎）が死去。
2004 ----- H16	12	39	34		柴犬（ごん太）を飼い始めた。
2005 ----- H17	13	40	35	〇〇養護学校	中学部入学。 部活動は体操部。
2008 ----- H20	16	43	38	〇〇養護学校	高等部入学。 部活動は体操部。
2009 ----- H21	17	44	39		体操部部长に抜擢。
2011 ----- H23	19	46	41	〇〇事業所	入所。

※必要に応じてこの用紙をコピーして追加しましょう。

生活の記録

うれしかったこと、困ったこと、できるようになったことや生活のエピソードの他、大きなできごとや家族の状況など記録しておきたいことを記入しましょう。

記入時年齢	16歳	記入日 (H20年	○月	○日)
新しいバスに乗ることができて、とてもうれしそうにしていた。					
記入時年齢	歳	記入日 (年	月	日)
記入時年齢	歳	記入日 (年	月	日)
記入時年齢	歳	記入日 (年	月	日)
記入時年齢	歳	記入日 (年	月	日)

将来の希望

卒業後や将来に向けて準備していること、考えていることを記入しましょう。

記入時年齢 歳 記入日 (年 月 日)

生活の場	自宅 ・ グループホーム ・ ケアホーム その他 ()	
例) ・ 親が元気なうちは自宅で生活する。週末はサービスを利用して余暇を過ごす。 ・ 仲間とグループホームで生活し、週末は親の家で過ごす。グループホームから通勤する。 週末にサービス等を利用し、他の人との交流を図る。	取り組み	
	例) ・ 低学年からサービスの利用を始め、少しずつ慣れさせる。 ・ 地域のグループホームの情報を集める。 サービスの情報を集める	

仕事	企業就労 ・ 福祉就労 その他 ()	
例) ・ フルタイムで働き、納税者になる。 ・ 自分のペースで働き、働く人になる。 自分の長所を生かし、仕事を続ける。	取り組み	
	例) ・ 家での手伝い。 ・ 挨拶の習慣をつける。 自分の仕事をきちんとする。 規則正しい生活を続ける。	

余暇 (趣味・特技・習い事)		
例) ・ 得意な絵を続け、入選を目指す。 ・ スイミングで体力づくりをし、わかふじ大会に出る。 ・ ひとりで過ごすことができる。 いろいろなバスに乗る	取り組み	
	例) ・ スイミングスクールに通う。 ・ 地域の子供会行事に参加する。 ・ 好きな本やDVDを選ぶ。 地元だけでなくいろいろなところのバスに乗ってみる	

進路先への引継ぎ事項

小学部・小学校へ、中学部・中学校へ、高等部・高等学校へ、

卒業後の進路先（専門学校・事業所・福祉施設など）への引き継ぎ事項を記入します。

記入者氏名（ ） 記入日（ 年 月 日）

現在通っているところ		進学先学校名 進路先	
氏名	鳥取 太郎	保護者名	

※在園・在学中実施した内容、進学先・進路先での必要な支援や配慮事項等を記入しましょう。

具体的なものを提示しながら説明をしてほしい。言葉だけでは不十分。

※進級・進学に向けて、準備していること、考えていること、不安に思っていることを記入しましょう。

自分ができないこと、難しいことを言われるとパニックになりやすい。

必要に応じてこの用紙をコピーして追加しましょう

就労の記録(訓練・体験・実習を含む)

企業就労、福祉就労、職業訓練、職場体験(実習)などの履歴を記入しましょう。

在職・体験・訓練の期間	会社・施設・機関名
H20年 ○月 ~ H21年 ○月	○○作業所 担当者 ()
・企業就労 雇用形態： 正社員 ・ パート ・ アルバイト ・ その他 () ・福祉就労 利用サービス： ・訓練 体験 実習 ()	
仕事や作業の内容・特記事項 お菓子等の袋詰め 支援機関： 担当者 ()	
年 月 ~ 年 月	担当者 ()
・企業就労 雇用形態： 正社員 ・ パート ・ アルバイト ・ その他 () ・福祉就労 利用サービス： ・訓練 体験 実習 ()	
仕事や作業の内容・特記事項 支援機関： 担当者 ()	
年 月 ~ 年 月	担当者 ()
・企業就労 雇用形態： 正社員 ・ パート ・ アルバイト ・ その他 () ・福祉就労 利用サービス： ・訓練 体験 実習 ()	
仕事や作業の内容・特記事項 支援機関： 担当者 ()	
年 月 ~ 年 月	担当者 ()
・企業就労 雇用形態： 正社員 ・ パート ・ アルバイト ・ その他 () ・福祉就労 利用サービス： ・訓練 体験 実習 ()	
仕事や作業の内容・特記事項 支援機関： 担当者 ()	

※差し支えない範囲で、内容・特記事項欄に退職理由を記入してください。

就労・訓練・実習の記録シート

- 民間企業や福祉施設での作業実習なども記録しておきましょう。
 ○工賃や給料、作業内容などに変化があった時にも記録しましょう。

会社(施設)名	〇〇作業所	担当者()
住所	鳥取市〇〇町〇-〇	
電話番号	0857-〇〇-〇〇〇〇	
雇用形態	・企業就労：正社員 ・パート ・アルバイト その他() ・福祉就労：利用サービス() ・訓練 実習	
期間	H20年 〇月 から H21年 〇月 まで	
勤務(作業)日	月 ・ 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 ・ () ・ ()	
勤務(作業)時間	午前・午後 4時 から 午前・午後 5時まで (計 1時間)	
手当・給料	あり ・ なし 工賃 ・ 手当 ・ 日当 ・ 給料	()円 / 時間 ・ 日 ・ 月
仕事(作業)内容	お菓子の袋詰め	

○会社・施設・支援機関の記入欄 支援機関名称()

必要な支援	【記入者】 記入日(年 月 日) その日の作業の見通しをきちんと伝えておくこと
会社(施設)の記録	【記入者】 記入日(年 月 日) 自分のできることを集中してやっていました。

●本人の記録

作業のやり方を覚えると、楽しそうにしていた。 ほめられるとやる気を出してがんばっていた。

※必要に応じてこの用紙をコピーして追加しましょう。

はたらく人になるために～将来就労するときのために、気にかけておきたいこと～

歳

記入日 (年 月 日)

	チェック項目	達成度	現在の状況
生活習慣 (日常生活)	食事	○	お箸は使えないが、フォークが使える
	着替え	△	ファスナーを上げる際、端を持つとできる
	排泄	△	和式は使えないが、洋式は使える
	生活リズム (起床・就寝時間)	△	声掛けをすると起床・就寝時間が守れる
	身だしなみ (清潔な服装ができる)	△	下着が出ている等の声掛けで直すことができる
	身だしなみ (ひげそり、爪切り)	△	爪切りはできるが、ひげそりはできない
	洗濯 (洗濯・たたむ)	△	一定量の洗剤が容器に入っているとできる
	掃除 (掃除・整理整頓)	△	掃除機は使えないが、ホウキは使える
	食事の支度 (用意・片付け)	△	洗うことはできないが、片付け拭くことはできる
	テレビなどの電化製品を使う	△	リモコン操作はできるが、電池交換ができない
	お店で目的に応じた品物を選ぶ	△	時間はかかるが選ぶことができる
	自分で買い物ができる	△	
	無駄遣いをしない	○	
	金銭管理	△	1万円位はできるが1万円以上の管理は難しい
	体調不良を訴えることができる	○	
	服薬管理	△	1日分の管理はできるが、長期管理はできない
	外来通院	△	方法を3回教えると通院できる。歯科は練習中
	公共交通機関、自転車等の利用	△	ICカードは使えないが定期は使える。自転車○
	交通ルール	△	信号を見て渡れるが、ボタンは押せない
	余暇活動・趣味	○	カード集め、カラオケが好き
危険を認知し、回避する	△	ガスコンロは安全に使える。刃物は×	
周りの人に危険がないよう配慮する	×	周りのことは考えられない	
コミュニケーション	あいさつ	△	自分から挨拶できるが、声が小さい
	丁寧な言葉が使える	○	
	返事ができる	○	
	住所、氏名、電話番号を伝える	○	
	家族 (父母等) の名前を伝える	×	
	電話 (携帯) が使える	△	かけることはできないが、受けることはできる
	口頭での指示が理解できる	△	短い言葉での指示なら理解できる
	自分から意思表示ができる	△	ハイは言えるが、イエエが言えない
	自分から失敗を謝る	○	
	自分から感謝の気持ちを伝える	△	好きな人には伝える
	自分から報告・連絡できる	△	初めての人にはできないが回を重ねるとできる
	自分から質問・相談できる	○	
	自分から周囲に関わることができる	△	声かけすれば関われる
無視・反発・拒否せず、指示や注意を受け入れる	○		

歳

記入日 (年 月 日)

	チェック項目	達成度	現在の状況
知識	時計を見て時間がわかる	△	アナログはわからないが、デジタルならわかる
	カレンダーの月日や曜日がわかる	△	日曜・祝日(休み)は、赤字だとわかりやすい
	数がわかる(足し算・引き算)	△	10までは理解できる。電卓を使えばできる
	読み書き	△	小学校低学年程度の漢字は読めるが書けない
作業能力	基礎体力	○	毎朝ラジオ体操をしている
	細かい作業ができる	○	
	正確な作業ができる	○	
	工夫しながら作業できる	△	言われたことはできるが、工夫まではできない
	慣れると作業スピードが上がる	×	
	一日のスケジュールが理解できる	△	丁寧に説明するとわかる
	集中して作業に取り組める	○	
	途中で投げ出さず、作業に取り組める	○	
	自分で状況判断しながら作業できる	×	
	始業・就業時間を守って作業できる	○	
	働く理由、動機がはっきりしているか 働きたいと思っている	△	作業には前向きだが、働くことと作業との区別があまりついていない
	積極的に、作業に取り組む	○	
	作業意欲	△	ほめられるとやる気がでる
	持続力(1時間以上)	△	タイムタイマーの使用で1時間続けられる
	1日に6時間以上働ける	×	
	持ち上げたり運んだり(10・15kg)	△	机くらいの高さまでなら持ちあげられる
	調理ができる	△	お湯を沸かしてカップ麺が作れる
	パソコンが使える	△	マウスを使って動画を見る
仕事の変化への適応力	△	直前ではなく朝、伝えることで対応できる	
精神面	自分の作業能力を理解している	○	
	自分の障がいや症状を理解している	○	
	情緒が安定している	△	ときどき不安定になる
	ストレスに強い	△	自分の嫌いなことにはストレスを感じる
	プレッシャーに強い	×	

年齢に合わせて記入しましょう ○…できる(わかる)、△…支援すればできる、×…できない

※ …就労のための評価シート(とっとり版)の項目

「就労のための評価シート(とっとり版)」

障害のある方が一般事業所等で働くために、必要な知識や作業スキル、コミュニケーション能力、モチベーション等を適切に評価し、必要な支援を見極めるために鳥取県が作成したシートです。同じ様式の評価表を利用することにより、お互いの支援を理解し、課題や目標を共有することを目的としています。

必要に応じてこの用紙をコピーして追加しましょう

余暇活動や習い事の記録

塾、放課後児童クラブ、サークル活動など、習い事の経験などを記録しておきましょう。

記入日（ 年 月 日）

習い事やサークル活動など		
教室名 利用期間	内 容	参 加 状 況
△△書道教室	筆と硬筆	休まず通っている
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		

資格・免許の取得、表彰・顕彰について	
取得年月日	資格・免許・表彰・顕彰など
H20年 ○月 日	学校で皆勤賞の表彰を受ける
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

社会体験活動歴（参加した行事・ショートステイ・ボランティア活動など）	
行事・利用・活動期間	利用した施設・参加した行事・活動内容
H21年○月～ 年 月	地域の清掃活動に参加
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

相談・支援の記録

※基本的には、保護者・ご本人が記入するものですが、関係機関のみなさまの記入についても、ご協力をお願いいたします。

記入日（ 年 月 日）

相談年月日	H10年 ○月 日 ～ 年 月 日	相談機関名 担当者名 記入者名	××中央病院
相談内容	発達遅滞児について、どこかサポートを受けられるところはないか。		
支援内容	児童相談所等を紹介される。		
その他	※支援を受けた結果や感想など 発達の遅れが気になり不安な部分があったが、支援先を紹介されて少し不安が和らいだ。		
継続 または 終了	・ 次回相談日 年 月 日（担当者 ） ・ 相談終了 ・ その他		

※必要に応じて、この用紙をコピーして追加しましょう。

記入日（ 年 月 日）

その他（※ページ内に書ききれない場合に利用してください）

各項目で書ききれなかったこと、その他記録しておきたいこと、お世話になった人や感謝している人のことなどについて記入しましょう。